

## 第5回 基本方針策定タスク 議事録

1. 日 時 平成13年12月18日(火) 18:00~20:00

2. 場 所 航空会館 7階 702会議室

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

委 員: 班目主査(東京大学), 友野副委員長(東京電力), 唐澤(東京電力), 寺津(東京電力), 樋口(日本原電), 本陣(東京電力), 村上(東京電力), 渡辺(日本ニュークリア・フュエル), 浅井(日本電気協会)

欠席委員: 近藤委員長(東京大学), 遠藤(日本原電), 山川(日本原電)

事務局: 堀江, 平田, 福原(日本電気協会)

4. 配付資料

No.5-1 第4回 基本方針策定タスク 議事録(案)

No.5-2 原子力規格委員会の検討課題

No.5-3 規格策定基本方針

No.5-4 規格体系

No.5-5 規格策定組織(学協会)及びボランティアの免責について

5. 議事

(1) 前回議事録確認

資料 No.5-1 に基づき, 事務局から, 前回議事録案の説明があり, 5. 議事(1)で「議会」の表現を「会議」と修正することで了承された。

(2) 原子力規格委員会の検討課題について

資料 No.5-2 に基づき, 事務局から, 原子力規格委員会で検討が必要な項目について説明があった。

議論の結果, 以下のとおりとすることとした。

1) 検討会の公開の件については, 今後, 他学会の現状, 業務の負担等の調査を行い, 考え方の取り纏めを本タスクで検討することとした。

2) 英訳版の作成については,

a. 英訳版の作成は必要であり, 各ルートからの作成要望に応えたい。作成にあたり 日本語を正とする旨を英訳規格に記載する必要がある。

b. 作成については費用の発生もあり事務局と分科会で対応方法を審議し, その内容を原子力規格委員会で審議して頂くこととしたい。

c.英訳版についてはできるだけ簡便な方法で作成したいため,分科会までの審議としたい。

d.英訳版規格の扱いについて,審議要領に記載する。

上記 a. ~ d.の内容について原子力規格委員会で審議することとした。

### 3) 規格策定基本方針 付則について

資料 No.5-3 に基づき,樋口委員から,規格策定基本方針の付則 1 から 4 について説明があった。

a.付則 1 の 2 . 委員心得については, 1 ) から 7 ) の 7 項目の簡易な記載とし,今後適宜追記していくこととする。また,委員の定義について追記する。

記載の内容に関して確認を行い,コメントを樋口委員に連絡することとした。

b.付則 2 については,文書の項目について事務局で見直すこととする。

また,永久保存は極力減らす方向で検討する。

c.付則 3 については,目的と適用範囲・基本要素事項・様式・規格本体の構成とする。

基本要素項目については, 5.1 から 5.8 の項目の記載とし,様式・規格本体の記述については,日本電気協会にて現在規定されているものをベースとし,修文する。

d.具体的な審議要領については付則 4 に示すのではなく規約の細則として作成し,規約を変更して細則を読み込めるようにする。タスクで継続審議していく。

また,異議申し立てについても細則に記載する。

### 4) 規格策定組織の免責について

資料 No.5-5 に基づき,樋口委員から,規格策定組織及びボランティアの免責について説明があった。

規格に免責事項の記載をするか,ボランティア個人の保護について如何様にすべきか,原子力規格委員会に伺いをたててみることにした。

### ( 3 ) 規格体系について

資料 No.5-4 に基づき,樋口委員から,参考として規格体系について説明があった。

### ( 4 ) その他

1) 事務局より,原子力規格委員会の英語名称案について説明があり,事務局案に更に「JEA Code Committee for Nuclear Facilities」を加え,原子力規格委員会で審議して頂くこととした。

2) 次回のタスクの開催は,3月11日,12日,13日 18:00 からのいずれかとし,別途調整することとした。

以 上